

平成30年度 千歳ブロックの研究

研究主題

自分の健康に関心を持ち、よりよい生活習慣について考え行動できる子どもの育成をめざして
～健康診断をとおして～

主題設定の理由

平成26年に学校保健安全法施行規則が一部改正され、健康診断項目や内容について一部が変更となった。それを受けて、新たに加わった項目について千歳市ではどのように実施するかを市教委と協議を重ね、「四肢の状態」の検査については29年度より実施となった。このことをきっかけに、改めて健康診断全般についての目的や実施方法、指導内容について確認や見直しの必要性を感じるようになった。

また、昨年度までの2年間、「自分のからだと向き合い、主体的に生きていく子ども」を主題に健康診断についても取り組んできた。それをさらに深め、子どもたちが健康診断を自分のこととして積極的に受け、その後のよりよい生活を考え行動できるようにするためにどうすればよいかを考えていきたい。

研究の仮説

1. 健康診断の目的や方法及び技術的基準について再確認することにより、課題が明らかになる。
2. 健康診断の実施方法を工夫改善することにより、子どもが健康診断を自分のこととして積極的に受け、よりよい生活を考え行動できるようになる。

研究内容

1. 健康診断の目的や方法及び技術的基準について改めて学習する。
2. 健康診断の実施にあたり、配慮が必要なことを確認し、そのためにすべきことを検討する。（職員向け提案・保護者、児童向け事前指導、事後指導・会場設営など）
3. 過去年間の研究を活かしながら主題にそった効果的な健康診断のあり方を考え、なおかつ時間や方法の効率化をめざす。
4. 健康診断票・健康カード・結果通知文書の内容について、改善の必要があるかどうかを含めて検討する。

研究方法

1年度目

- ・「色覚」について全体で学習し、検査の方法について確認する。
- ・ A「身体測定、視力検査、聴力検査」、B「内科検診（結核・四肢の状態）、眼科検診、尿検査」、C「歯科検診、耳鼻科検診、心臓検診」の3グループに分かれ、グループ学習会の講師を受け持つ。また実践例を提示するなど、次年度に向けて効果的・効率的な健康診断を提案する。

- ・健康診断票・健康カード・結果通知文書の内容についての検討は各グループが行い、全体確認後、推進委員を中心に役員が原案を提示する。
- ・理論研修会を行う。（色覚について）

2年次目（平成31年度）

- ・3つのグループ分けを継続し、研究主題に沿った健康診断をグループが推進する。
- ・1年次目に学習したことやグループから提案された効果的・効率的な健康診断をもとに、各校が実態に合わせた方法で実施する。
- ・実施後は交流を行い、次年度に活かす。
- ・理論研修会または、実技研修会を行う。